

2019年8月22日

報道関係各位

丸の内イルミネーション実行委員会  
三菱地所株式会社  
三菱地所プロパティマネジメント株式会社

## 丸の内仲通りが約1.2kmにわたりシャンパンゴールドに染まる 「丸の内イルミネーション2019」

開催日時:2019年11月7日(木) 17:30～ 点灯開始\*

開催場所:丸の内仲通り、東京駅周辺 ほか ※12月は17:00～点灯開始予定

丸の内エリアでは、2019年11月7日(木)～2020年2月16日(日)の期間中、冬の風物詩として街を彩る恒例のイベント「丸の内イルミネーション2019」(主催:丸の内イルミネーション実行委員会)を行います。

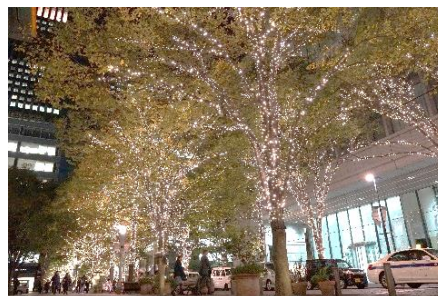
「丸の内イルミネーション」は、丸の内エリアの企業・店舗や近隣のオフィスワーカー、来街者の交流を生み出す空間である街のメインストリート、丸の内仲通りを中心に開催しており、今年で18年目を迎えます。ブランドショップが並ぶ約1.2kmにおよぶ丸の内仲通りの、220本を超える街路樹が上品に輝く丸の内オリジナルカラー「シャンパンゴールド」のLED約100万球で彩られます。

有楽町エリア(国際ビル、新国際ビル前)では、昨年度に引き続いて「光のゲート」が設置されるほか、大手町仲通りでもイルミネーションの開催を予定しております。(11月14日(木)～)。その他、丸の内エリアではクリスマスツリーの点灯式やクリスマス装飾、関連イベントなどを行う予定です。(詳細情報は、後日リリース予定)

本イルミネーションでは、従来品と比べ1球当たりの使用電力を65%削減<sup>※1</sup>する「エコイルミネーション」により、エネルギー使用量を削減し高効率化を実現してきましたが、2014年度より1球あたりの使用電力をさらに30%カットする「NEWエコイルミネーション」を一部に採用しています。この取り組みが評価され、2016年度(第12回)には「日本夜景遺産<sup>※2</sup>」としても認定されました。今年度も、前年に引き続き「NEWエコイルミネーション」を約68万球とし、従来の明るさや輝きは変わらずに、使用電力を抑えます。丸の内仲通りにおいて期間中に使用するすべてのエネルギーには、太陽光や風力などの自然エネルギーで発電されたグリーン電力を使用することにより、環境を大切に地球にやさしいイルミネーションで、約100日間の煌めく夜景をお楽しみいただけます。

※1 LED電球1球あたり(2009年度使用のLED電球との比較)

※2 「日本夜景遺産」:一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューローが行う「日本夜景遺産プロジェクト」のひとつで、全国約5,200名の夜景鑑賞士や各地の自治体、民間企業からノミネートされた夜景の中から、全国の「一級夜景鑑賞士(夜景マイスター)」31名と事務局によって、「すぐれた普遍的価値をもつ夜景」や「誰もが楽しめる夜景地」に認定された夜景に与えられる称号。  
(<http://www.yakei-isan.jp/index.php>)



「丸の内イルミネーション」過去開催時の様子

### ＜本件に関する一般の方のお問合せ先＞

丸の内コールセンター TEL:03-5218-5100 (11:00～21:00)

※但し、日曜・祝日は20:00まで(連休の場合は最終日のみ20:00まで)

丸の内ドットコム HP:<https://www.marunouchi.com/>

皆様の写真や動画を web サイト「marunouchi.com」でもご紹介しております。

(#丸の内ドットコム、#丸の内クリスマス、@Marunouchi.com)

## 《「丸の内イルミネーション2019」概要》

- 主催：丸の内イルミネーション実行委員会（以下の団体で組成）  
 東京都、千代田区、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、  
 NPO法人大丸有エリアマネジメント協会
- 協力：三菱地所株式会社
- 企画制作：三菱地所プロパティマネジメント株式会社
- 実施期間：2019年11月7日（木）～2020年2月16日（日）102日間（予定）
- 点灯時間：17:30～23:00（予定）※12月は、17:00～24:00まで点灯予定
- 場所：丸の内仲通り、東京駅周辺 ほか
- 電球数：約100万球 シャンパンゴールド（LED）※丸の内オリジナルカラー（2007年より同色）

### 【「NEWエコイルミネーション」とは】

従来型LED電球の電力をコントロールすることで、使用電力を約65%削減しながら同等の明るさを得ることに成功した「エコイルミネーション」のエネルギー消費をさらに低減し、高効率化を実現した新モデル。  
**⇒明るさは従来のエコイルミネーションのまま、使用電力の約30%削減を実現。約68万球を導入予定。**

### 【「丸の内イルミネーション2019」開催マップ】 ※一部調整中につき、内容が変更となる場合がございます。



● NEWエコイルミネーション ● エコイルミネーション ■ 光のゲート

※丸の内仲通り：有楽町電気ビル～丸ビル、および 新丸ビル～iiyo!!(イーヨ!!)

※丸ビル、三菱商事ビル、郵船ビルのイルミネーションは9月20日（金）より一部先行点灯予定

### 《丸の内仲通りについて》

- ・「丸の内仲通り」は、1960年代から一体的整備が進み、日本を代表するビジネス街に相応しい、幅員21m、全長1.2kmに及ぶ都心の街路として誕生しました。2002年以降の再整備を通じて、歩道が拡幅し（歩道：車道：歩道＝6m：9m：6m→歩道：車道：歩道＝7m：7m：7m）、街路樹や路面が美装化されたことで、通過するだけの道路空間が、多彩な店舗やイベントなどで賑わう「快適な交流空間」へと変化を遂げています。
- ・街路空間を変えた「都市の居間」というリノベーションコンセプトとデザイン、公民連携でのエリアマネジメント運営が高く評価され、「土木学会デザイン賞最優秀賞」（2013年）、「グッドデザイン賞」（2014年）、「都市景観大賞（大賞の国土交通大臣賞）」（2015年）など、数々の賞を受賞。
- ・2014年度の国家戦略特区道路占用特例区域認定、2015年度の交通規制時間帯の延長後約2年間に渡るモデル事業を経て、現在は「NPO法人大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）」を担い手とし、経常的な取組として「アーバンテラス」というコンセプトのもと、就業者や来街者などに道路空間を開放し、オープンカフェや移動式店舗、様々なイベントを展開しています。「丸の内イルミネーション2019」でも、冬ならではの道路空間の活用を検討中です。



丸の内仲通りは  
 人のための通りへ  
**URBAN  
 TERRACE**

大手町・丸の内・有楽町地区 公的空間活用モデル事業



○参考情報：丸の内エリアのコンセプトワードについて

### Dynamic Harmony

Tokyo Marunouchi

「Dynamic Harmony」は、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町・常盤橋地区）のまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」をベースにした、丸の内エリアの多様なあり方を表現したワードです。「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。